

質問事項

- ◆閉校となった施設の利用
- ◆子ども医療費助成制度
- ◆市の災害対策、対応
- ◆森林環境譲与税

井上徹

いのうえ とおる 議員

閉校となった施設の利用は



問 ホームページ上で避難指示の対象地域のマップが探しにくい。避難指示と同じページで近くに対象地域のリンクを貼り付けられないか。

答 災害時において、容易に閲覧ができることは非常に重要であることから、ホームページ上の表示方法について早急に検討します。

問 消防団の給油所について、震災時は混雑が発生し、給油がままならなかった。緊急時の遅延や、団員の方への負担を考えると、近所

市の災害対策、対応について

問 保護者への調査では香取市を子育てしやすいまちだとは思わない方が約51%となっており、子どもの遊び場が少ないという意見が70%を超える。対策は。

答 現在建設中の佐原駅周辺地区複合公共施設の中に、子育て世代支援施設を設置します。児童書架や遊具を設置した屋内多目的広場などを配置し、親子で自由に遊べる場所を提供します。

問 応募していただいた企業に対して、参考にできることはヒアリングをして次に活かしているか。

答 提案事業者の意見を参考にしながら、公募に係る募集要項、審査基準などの作成をはじめ、提案事業者との協議などに活かしていきたいと考えています。

問 みんなの廃校プロジェクトの登録状況とその効果は。

答 現在、市においては行政財産を含め5つの廃校施設の情報を登録しています。登録後の当該5施設に係る問い合わせ、現地見学の依頼などが10件程度寄せられています。その多くは当プロジェクトの閲覧によるものであり、登録の効果は大きく、引き続き積極的に活用していきたいと考えています。

子ども医療費助成制度について

問 この制度の概要は。

答 子どもの保健対策を充実させ子育て世代の経済的負担を軽減するため、子どもが病気やけがなどにより受診した場合の医療費を助成しており、対象は、香取市に住所を有する出生の日から18歳到達後の最初の3月31日までとなっています。自己負担金は入院1日につき300円、通院1回につき300円、調剤は無料であり、住民税非課税世帯、住民税均等割のみ課税世帯は自己負担なしとなっています。

問 高校生世代の給付は、本庁子育て支援課及び小見川支所窓口での償還払いとなっているが、今後現物給付にできないか。

答 現物給付に当たっては、受給券交付などの事務手続やシステム改修費などのコストもかかることから、現段階では予定していませんが、県の補助対象が拡大されれば、現物給付になることも考えられます。

子どもを産み、育てることへの支援を



質問事項

- ◆多様性を前提とした上で、子どもを産みやすく、育てやすく、暮らしやすいまちづくり
- ◆災害対策・安心安全なまちづくり
- ◆新型コロナワクチンの接種

加藤裕太

かとう ゆうた 議員

問 不妊治療の公的医療保険適用で、現在より負担増のケースもある。市の助成はどうなるのか。

答 年内に不妊治療の保険適用の対象範囲となる治療や検査などが決定される予定です。今後、県の動向を見ながら、市の助成内容を検討していきます。

問 子育てしやすいまちをつくる前提として、多様な価値観を持つ方々が暮らしやすい環境整備が必要。市の「ジョン」と取組、今後の取組は。

問 子育て世代に香取市を選んでいただくためのアピールポイントは。

答 一つ目として子育て世代包括支援センターですが、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のための総合的な相談事業を行っています。二つ目として子ども医療費助成事業ですが、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、助成対象を高校生世代まで拡大して実施しています。

問 今年度点検はどこが対象となり、今後どのように対策が実施されるのか。

答 全小学校における通学路の一点検を実施し、43カ所の危険箇所がありました。現地での確認が必要な20カ所について合同点検を実施しており、17カ所については、年度内に対応いたします。ガードパイプやラバーポールの設置、路面標示や看板の設置などの安全対策を決定しました。

安心・安全な通学路の実現を

問 今年度点検はどこが対象となり、今後どのように対策が実施されるのか。

答 全小学校における通学路の一点検を実施し、43カ所の危険箇所がありました。現地での確認が必要な20カ所について合同点検を実施しており、17カ所については、年度内に対応いたします。ガードパイプやラバーポールの設置、路面標示や看板の設置などの安全対策を決定しました。



児童生徒の登校の様子(佐原小学校)

着実な新型コロナワクチン接種を

問 ワクチンパスポート活用の検討状況は。

答 若い年齢層の接種率が着実に伸びている状況ではありますが、今後、国・県の動向を注視し、方針などに基づいて検討していきます。